

か ゆ み

粥見住民協議会

各地域の住民協議会の活動をシリーズで紹介しています。



新築された粥見小学校展望デッキから見た粥見地域の風景。美しい山が広がり、澄んだ空気もおいしく感じます。

粥見住民協議会は、平成22年6月に

設立されました。地域振興部会、福祉部会、教育文化部会の3つの部会で、様々な事業を実施しています。「地域に誇りをもち、一体感のあるまちづくり」を基本理念に、山里ならではの温かいコミュニティの中、地域が元気であり続けるために必要なことは何かを考え活動しています。

2018年12月の人口は2,345人。世帯数は982戸となっており、この数字から、核家族化、一人暮らし世帯の増加が見てとれます。

今後は、さらに人口の減少が予想されていることから、移住促進について行政とともに取り組み、若者定住の促進、地域内にある県立飯南高校との連携を図りながら、地域の活性化を目指します。



粥見住民協議会
中山一男 会長



環境美化活動

地域の道路沿いに花の苗を植樹してランニングやウォーキング、サイクリングなど、多くの人の心を癒しています。

特に今年は、昭和34年に建設され老朽化が進んでいた粥見小学校が新築され、地域の人たちの喜びもひとしお今年となりました。「地域の子どもは地域で育てる」この考え方は、粥見地域でも昔も変わりません。子どもたちも、朝、元気に「おはようございます！」帰りには「ただいま！」と挨拶してくれます。世代間の交流を大切に、地域がもつともっと元気になるよう、あらゆる努力をしていきます。

お知らせ



粥見地域は「深蒸し煎茶」の特産地、毎年5月にはお茶の新芽の美しい緑が広がります。粥見地域を訪れていただければ、お茶の香りがどこからともなく。

活動紹介



世代交流
バレーン教室

若いお母さん、ベテランお母さんが参加して、会話をはずませながらクリスマスツリーを作りました。



地域間の交流と
健康を促進

グランドゴルフ愛好者の皆さんが集まり、大会を開催しました。



かゆみ
地域交流会

子どもからお年寄り、地域の皆さんが集まって交流会を開催し、プロの芸能などを楽しみました。